プレスリリース　□事前告知のお願い　☑当日の取材のお願い　□その他　　福 島 市

令和8年10月5日

第23回全国農林水産物直売サミットが福島市で開催
～ 市長を表敬訪問します ～

全国の直売所関係者が集う全国農林水産物直売サミットが今年は福島市で開催されます。開催にあたり、あだたらの里直売所と一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう)などが、PR のため市長を表敬訪問します。

記

1 日　　時 ： 令和8年10月7日(水)午前11時30分～正午

2 場　　所 ： 市役所本庁舎 4階 市長応接室

3 来 庁 者 ：あだたらの里直売所 店長　　矢吹　吉信 様

まちむら交流きこう 業務部長　　森岡　亜紀 様

産直新聞社　　代表取締役　毛賀澤 明宏 様

4 イベント概要　(1)イベント名　　第 23 回全国農林水産物直売サミット

(2)テ ー マ　　いま直売所に求められる商品・サービス・使命は何か

～震災から 15 年・地域再生が進む福島で考えよう～

(3)内　　容　　全国の農林水産物直売活動関係者などが集い、直売活動の持続的な発展に向け、先進事例の共有や、直売活動の課題解決についての議論、情報発信を行う。

(4)開 催 日　　令和8年11月5日(木)～6 日(金)

(5)会　　場　　ウェディングエルティ1階「スクエア」

担当:農業振興課 販売促進係
課長 齋藤、係長 須田
電話 024-529-7663(直通)

第23回「全国農林水産物直売サミット」参加費・お申し込み方法について

■参加経費

①現地参加
- ・参加費(開会～分科会)　6,000円(全国農産物直売ネットワーク会員は5,000円)
- ・夕食交流会　8,000円
- ・現地視察費　※コースごとに異なります
  (AおよびBコース11,500円、Cコース10,000円、Dコース14,000円)
- ・宿泊費　※施設ごとに異なります

②オンライン参加
- ・オンライン参加費　10,000円　※後日視聴も可能。資料等は後日送付いたします

■参加申込み方法

専用のWEB申込フォームからお申し込みください
(下記のQRコードからアクセスできます)。

【参加についてのお問合せ先】
(株)農協観光Nツアーコールセンター 直売サミット係
TEL:086-206-2225　営業時間:9:30～16:30(土日祝を除く)
メール:ntour_chokubai2026@ntour.co.jp

【サミットに関するお問合せ】
(一財)都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう)
TEL:03-6206-0956　営業時間:9:30～17:45(土日祝を除く)　メール:chokubai@kouryu.or.jp

協賛・広告出稿のお願い

申込みはこちら

全国の農林水産物直売所を率いる方々の連携・交流と、直売活動の持続的な発展を目的に開催してまいりました「全国農林水産物直売サミット」も、今年で第23回を迎えます。これまで開催してこられたのは、ひとえに全国の直売関係者様のご協力・ご支援のおかげです。運営者も、工夫や新たな挑戦に取り組み、精いっぱい良いサミットにしたいと考えておりますので、今回のサミットの開催成功に向けて、ぜひご協賛を賜りたく、ご案内申し上げます。

プラン	枠数	特典	金額(税込)
【A】一般協賛	30団体様	①会場配布プログラム・産直コペル等の配布物の「協賛団体一覧」へ団体名を掲載 ②サミット参加費(全体会・分科会 通常6,000円)を5名まで無料	3万円
【B】特別協賛 (広告掲載)	20団体様	【A 一般協賛】プランの特典 +③会場配布プログラムにA5サイズの協賛広告を掲載 ※版下作成は別途承ります。	6万円
【C】特別協賛 (ブース出展)	15ブース	【A 一般協賛】プランの特典 +③会場配布プログラムにA5サイズの協賛広告を掲載 +④「直売所間物流マッチングコーナー」へブース出展	6万円

※各プランとも先着順になります。特にブース出展は人気がありますので、お早めにお申し込みください。

【関連出版物】「産直コペル」産直サミット特集号への広告掲載　(※参加者全員へ配布)			金額
産直サミット「予告号」(80号)	10月発売	サミットのポイントを詰め込んだ"予習の一冊"	5万円～
産直サミット「報告号」(81号)	12月発売	学びと感動が蘇る"復習の一冊"	

「産直コペル」は、全国の産地直売所情報を豊富に有する産直新聞社が、隔月刊で発行する農と食を通じて地域振興を目指す専門誌です。
「予告号」(80号)は、サミットのプログラムに沿って、登壇者や登壇者が属する直売所、予定されている発言内容・論点・見どころ・聞きどころなどを紹介。当日の参考資料としてご利用いただけます。
「報告号」(81号)は、サミットではどういったことが語られ議論されたのか、参加者はどのようなことを考えたのかを、当日の熱気をそのままにまとめた一冊です。
本誌各号の広告は多くの直売関係者等の目に触れる貴重な機会になります。
ぜひ、御店の取り組みや商品等のPRにご活用ください!



【協賛・広告掲載についてのお問合せ先】
(株)産直新聞社(第23回全国農林水産物直売サミット協賛係)
TEL:0265-96-0938　営業時間:9:00～18:00(土日祝を除く)　メール:info@j-sanchoku.net

想いを寄せて福島で集う。

11/5(木)・6(金) 2026

サミット:福島市:ウェディングエルティ1階「スクエア」
10:00～18:00　夕食交流会18:00～20:00

直売所視察(全4コース)福島駅発
※各視察コースで時間が異なります。
詳しくは下記QRコードからWebをご覧ください。



※画像の一部はAIを用いて作成しています。

いま直売所に求められる
商品・サービス・使命は何か
～震災から15年・地域再生が進む福島で考えよう～

第23回 全国農林水産物直売サミット

開催地 / (全体会) 福島県福島市
(直売所視察) 福島県内の農林水産物直売所等(全4コース)
会　場 / ウェディングエルティ1階「スクエア」(福島県福島市野田町1-10-41)
参加者 / 全国の直売所の運営者・支援者など約300名(事前申込制)
内　容 / 全体会、分科会、夕食交流会、直売所視察、商品展示・情報交換会
参加費 / 全体会・分科会(6,000円)、夕食交流会(8,000円)、直売所視察(10,000円～)
オンライン参加費(10,000円)
参加申込 / 特設サイトからお申込み下さい
主　催 / 一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構(まちむら交流きこう)
共　催 / 全国農産物直売ネットワーク
協　力 / 株式会社産直新聞社 特定非営利活動法人素材広場 ふくしま産直倶楽部
後　援 / 福島県・福島市・農林水産省・JA福島中央会
(一社)福島県農業会議・JA地産地消全国協議会
(一社)全国農業改良普及支援協会・(一社)農山漁村文化協会
(一社)全国農協観光協会・全国直売所研究会

23rd JAPAN FARMERS' MARKET SUMMIT AT FUKUSHIMA

第23回 全国農林水産物直売サミット

【開催趣旨】

1年に1度、全国の農林水産物直売活動関係者などが集い、直売活動の持続的な発展に向け、先進事例の共有や、直売活動の課題解決についての議論、情報発信などを行う「全国農林水産物直売サミット」が今年も開催されます!
今年の開催地は東日本大震災から15年目を迎える福島県。直売所を拠点に、農林水産業の復興や地域再生が進められている現場、活動を率いるキーパーソンに学びます。ぜひ、全国の直売所関係者、支援者の皆さまのご参加とご協力をお願い申し上げます。



昨年の全体会の様子

DAY1 2026年11月5日(木)

10:00 直売所間物流マッチングコーナーがオープン(会場:ウェディングエルティ1階・ロビー)

全国の直売所間で交流・流通・普及を進めたい商品や直売活動に役立つ資材・情報などを展示する「直売所間物流マッチングコーナー」を設けます。本コーナーでは、直売や農、食に関する企業や団体がブースを出展し、サービスや技術を紹介します。直売関係者との商談や情報交換のまたとない機会です。ぜひ、ご参加・ご出展ください!
※出展(有料)を希望される方は産直新聞社にお問い合わせ下さい。



昨年の様子

13:00 全体会 開会

・主催者挨拶　(一財)都市農山漁村交流活性化機構
　全国農産物直売ネットワーク
・開催地挨拶　福島県　福島市　農林水産省

13:30 報告①「震災から15年・福島からの報告」

特定非営利活動法人素材広場 理事長 横田 純子 (会津若松市)



横田 純子さん



高野 哲也さん

13:50 報告②「道の駅・直売所の復興と連携」

道の駅ひらた 駅長 高野 哲也 (平田村)

休　憩

14:20 活動紹介①「直売所が地域をつくる。三方良しに挑む直売所の挑戦」

あだたらの里直売所 店長 矢吹 吉信 (大玉村)



矢吹 吉信さん

15:00 話題提供①「未来に向けて、生産者が稼げる商品づくり」

鈴木農場・伊東種苗店 代表 鈴木 光一 (郡山市)



鈴木 光一さん

話題提供②「農の社会課題解決を目指す、ベリーズガーデンの挑戦」

Berry's Garden代表 景井 愛実 (福島市)

特別ゲスト「震災からの復興を支えた直売所の力」

俵山交流館 萌の里 館長 寺本 篤史 (熊本県西原村)

展示コーナー見学・休憩・会場移動

16:00 分科会(90分) 直売所を取り巻く7つのテーマについて、ご関心のあるものをお選びいただき、ご参加ください!



①これから直売所で稼げる品目・品種・商品とは

ゲスト:鈴木農場・伊東種苗店 代表 鈴木 光一(郡山市)
進行役:(株)産直あぐり 代表取締役 叶野 由佳(山形県鶴岡市)

②地域再生のプレイヤーになる直売所の挑戦

ゲスト:道の駅ひらた 駅長 高野 哲也(平田村)
　俵山交流館萌の里 館長 寺本 篤史(熊本県西原村)
進行役:まちむら交流きこう 森岡 亜紀

③人気店に学ぶ、直売所の接客・情報発信術

ゲスト:JA秋田おばこ「しゅしゅえっとまるしぇ」店長 藤田 学(秋田県大仙市)
進行役:(株)産直新聞社 横川 真美





④オンリーワンの産地づくり・商品づくり

ゲスト:(株)奥会津昭和村振興公社 専務取締役 湯田 文則(昭和村)
進行役:特定非営利活動法人素材広場 理事長 横田 純子

⑤販売データを活用した直売所の売り上げアップ

ゲスト:中泊町特産物直売所「ピュア」店長 前田 晴香(青森県中泊町)
進行役:(株)産直新聞社 代表取締役 毛賀澤 明宏





昨年の分科会の様子

⑥地域商社になる直売所 ～地場産物のプラットフォームづくり～

ゲスト:道の駅あいづ湯川・会津坂下 駅長 兼 管理部長 土田 昌孝(湯川村)
進行役:日本協同組合連携機構 主席研究員 加藤 美紀

⑦少量多品目の品揃えで、キラリと光る店づくり

ゲスト:いいたて村の道の駅までい館 支配人 神代 憲男(飯舘村)
進行役:まちむら交流きこう 地域活性化チーム長 上野 美帆

休憩・会場移動

18:00 夕食交流会(～20:00) ～着席スタイルの交流会・福島の食材を、ぜひお楽しみ下さい～

DAY2 2026年11月6日(金) ～福島直売所視察～

2日目は、福島県内の直売所の視察になります。A～Dの4つのコースより希望するコースを選択してご参加ください。
※Cコースには昼食は含まれていません。道の駅よつくら港で各自自由にお取りいただく形となります。



Aコース 果樹産地の直売所をめぐる

樅山果樹園(福島市)/道の駅ふくしま(福島市)/
道の駅国見あつかしの郷(国見町)・昼食/JAふくしま未来・んめ～べ(伊達市)/
道の駅伊達の郷りょうぜん(伊達市)　※解散16:30 JR福島駅西口

Bコース 復興拠点の直売所をめぐる

道の駅かわまた・川俣シャモ専門店本社工場(川俣町)/小高マルシェ(南相馬市)/
道の駅なみえ(浪江町)・昼食/いいたて村の道の駅までい館(飯舘村)
※解散16:30 JR福島駅西口

Cコース 多様な運営による直売所

あだたらの里直売所(大玉村)/道の駅ひらた(平田村)/
道の駅よつくら港(いわき市)※昼食は各自になります/
産直市場田舎んぼ(いわき市)　※解散15:30 JRいわき駅、JR郡山駅着16:50

Dコース オンリーワンの魅力ある直売所

JA福島さくら・あぐりあ(郡山市)/道の駅あいづ湯川・会津坂下(湯川村)・昼食/道の駅からむし織の里しょうわ(昭和村)/
まるごと西郷館(西郷村)　※解散17:00 JR新白河駅

※講師・テーマなどについて、今後変更になる場合があります。予めご了承ください。